

一筋縄ではいかない
試作の面白さを実感。

客先から依頼を受けた試作品づくりや技術開発、学生向けのめっき実演を担当しています。一筋縄ではいかないのが試作の面白さ。結果を出すまでの試行錯誤の過程も含め、やりがいを感じています。女性も長く働ける職場なので、頑張って上を目指したいです。

志望動機

何事にも「できない」と言わず最善を尽くす企業理念に共感しました。



技術部
浅野ひなたさん



私たちがめざすもの・私たちの想い

時代は働き方から働きがいへ、
十人十色の働きがいを最大限に支援。

当社ではより新しい時代に対応していくために人事制度を見直し、2024年4月からキャリア別コース制度を本格導入します。これはライフプランやキャリア志向に応じて働き方を選べる制度。「上を目指したい」という人には、目標達成に必要な資格やスキルを積み上げられるようバックアップ。子育てなどで一時的に家庭を重視したいという場合は勤務時間を見直すな

ど、個々に柔軟に対応していきます。企業は働く人がいるから続いていきます。私たちが創業時から人を大切にしている経営を行ってきたのは、働く一人ひとりが心と体を健康に保ち、個々の能力を最大限に発揮できる環境を作り出すことが会社の使命だと考えているからです。仕事を通して成長したい人、じっくりキャリアを積みみたい人はぜひ当社で持てる力を発揮してください。



取締役副社長
清川卓二さん

インターン受入! 会社見学OK!



清川メッキ工業株式会社

福井市和田中1-414
TEL.0776-23-2912
www.kiyokawa.co.jp/

採用実績 大学卒/短大卒/高専卒/専門卒/高校卒

◆事業内容

- ◎表面処理 / 各種電気めっき、無電解めっき、機能性めっき化成皮膜処理、アルミニウムの陽極酸化(アルマイト)
- ◎主要めっき品 / 電子部品、マグネット、半導体ウエハー、その他先端材料



表彰状



COMPANY
07

ナノテクに挑み、
独創の技術を確立。

清川メッキ工業株式会社

— こんなコトをしている会社です! —

100万分の1ミリといったナノレベルのめっき加工技術の開発など、他にはない技術を誇る業界のトップランナー。電子機器の小型化にも貢献する。

独自の技術を磨き、
数々の賞を受賞。

「お客様の要望に技術・コスト・品質のすべてで上回るものを提供する」。それが清川肇社長のモノづくりへの思い。開発に10年以上かかる案件もあるが、量産化できたときの喜びは格別だという。近畿地方発明表彰など数々の受賞歴も高い技術の証だ。

創業60周年を機に
さらなる私私の充実を。

昨年で創業60周年を迎え、社員数は370名(2024年1月現在)。働きがいの改善にも力を入れており、2024年4月は年間休日数を115日とし、さらに118日まで増やす予定。有給休暇の取得日も平均12.2日。社員の公私の充実を図っていく。



年間休日
2024年4月より

115日

今後さらに、休日を
増やしていく予定です。
2025年4月より117日
2026年4月より118日



平均有給休暇
取得日数

12.2日



社員数

370名
(2024年1月時点)



清川メッキ
ができて

60年



ふくい理数グランプリ
メダルを作製・寄贈。

福井県教育委員会が主催する「ふくい理数グランプリ」。子どもの科学的思考を育む本大会の受賞者に「喜んでもらおう」とオリジナルメダルとトロフィーを作製・寄贈している。寄贈後、大会参加者は増加。理数への興味関心の向上にも貢献している。

清川メッキ工業株式会社



社員の健康を食からもサポート「Kyo 健幸福食」。

会社近くの古民家を社員食堂としてリノベーション。パスタやサラダなどの食品を一品100円で提供する「Kyo 健幸福食」を実施。コンビニに行く時間やお金の節約になり、夜勤者も温かい食事を摂れると好評だ。2階にはリラックススペースもあり。

総務部 紘屋 茉奈さん



管理栄養士の資格を持ち、「kyo健幸福食」の食品選びを担当しています。皆さんの声を反映し、使いやすクリラックスしてもらえる場所になるよう、ブラッシュアップを重ねています。

10年、20年、30年の永年勤続で旅行券を贈呈。

永年勤続表彰として、10年で10万円分、20年で20万円分、30年で30万円分の旅行券が贈呈される。また、常に問題意識を持ってもらうために、改善提案制度もあり、提案だけでも褒賞金が贈呈され、実施されると褒賞金額もアップ！1件からでもOKだ。

倉茂電工株式会社



生産部本社製造課 池野 幹太さん



「20万円分の旅行券で、家族でシンガポールへ。文化や習慣の違いに驚きながらも楽しく過ごし、考え方や視野が広がりました。多感な子ども達にとっても良い経験になりました」。

現場の声に伝える職場改善で働きやすい環境に。

ICT技術の活用で業務の効率化を図り、保育施設は年間1122日、介護施設は年間110日以上以上の休みが取れる環境に改善。職員と対話を重ねながらより柔軟な働き方ができる職場づくりを進め、入職しやすく定着率の高い体質を目指している。

社会福祉法人 慶秀会



法人本部事務本部長 平井 崇裕さん



よりよいサービスには人間的なつながりも大切なので、職員間のコミュニケーションを充実させて意見が言いやすい関係を築き、チームワークを向上させていきたいと考えています。

5回の産休・育休も
快く応援してくれる
サポート体制に感謝!!

業務の効率化と
周囲のフォローで
スムーズに復帰。

2カ月の育休で
我が子と触れ合い、
周囲への感謝も増した。



P128

社会福祉法人 慈恵会 山翠苑
介護職員
土田あずみさん

『山翠苑』で働きながら、5人の子どもに恵まれた土田さん。「職場の方たちが毎回“おめでとう!”と快く送り出してくれるので、安心して出産や育児に専念できます」と話す。また、法人提携の託児所で、生後半年から子どもを預けられるのもスムーズな職場復帰を後押し。「学校行事なども休みを取りやすく、周りの方のサポートに助けられています」。



「5人の子育ては大変ですが、心に余裕をもって楽しみたい」という土田さん。出産前に利用者の方から手作りのお手玉をもらったこともあって、感激したと教えてくれた



P126

社会福祉法人 慶秀会
認定こども園『里山ほのか学園』
保育教諭
井土莉那さん

職員間の連携がよい職場で先輩に相談しやすく、親身なフォローがあるので不安なく復帰できた。職場のDX化が進み、連絡ノートの記入などの事務作業の負担が減ったのも家庭との両立を後押ししている。「先輩に学びながら、子どもの気持ちを含み取る対応力を伸ばし、園に行くのが楽しくなる保育を目指したい」と、さらなる成長を目指す。



「自分の子どもの笑顔を見ると、ママとしても頑張ろうと思える」と語る井土さん。職場は産休育休も取得しやすく先輩でも復帰された方が多いので安心して復帰の道を選べたよう



P62

清川メッキ工業株式会社
銅板製造部
林 拓徳さん

車載用半導体ウェハへのめっきを行う部署で生産現場リーダーを務める林さん。この春からの増産に向け、設備導入・人員増加などの現場整備に余念のない日々を送っている。昨年、お子さんが生まれた後、2カ月の育休を取得。「子どもとじっくり接する時間が持ててありがたかったです」と話し、協力的だった仲間への感謝の気持ちも深めている。



休日は家族の時間を大切にしている林さん。「子どもが寝た後に近所をランニングしたり、月イチで会社のバドミントンサークルに参加したりしてリフレッシュしています」

「子
が
子
ロ
レ
ま
を
広

「子
です
い
物
りが